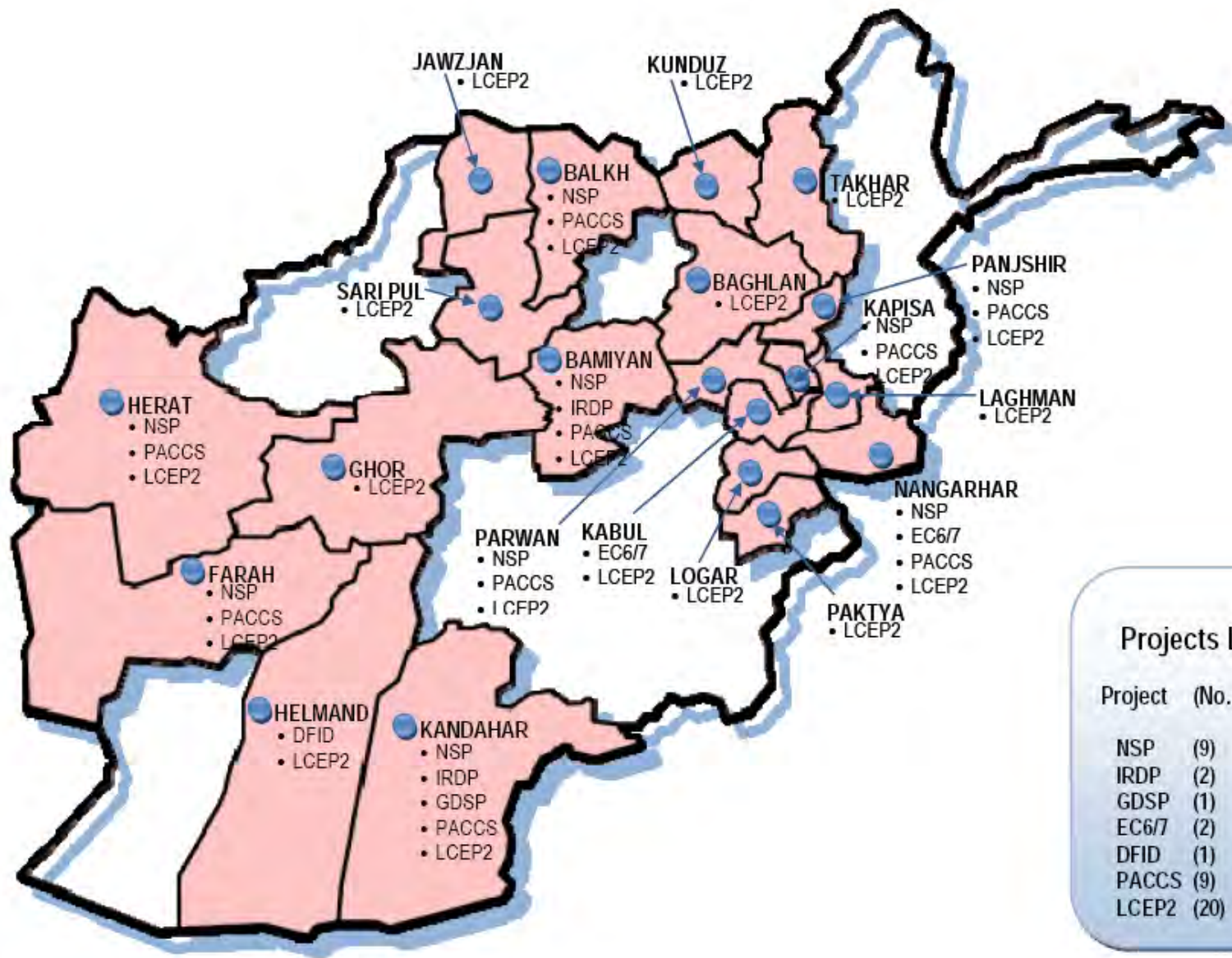


UN-HABITAT AFGHANISTAN  
Energy Sector



# UN-HABITAT active in 20 of the 24 provinces



Projects Locations	
Project	(No. of Provinces)
NSP	(9)
IRDP	(2)
GDSP	(1)
EC6/7	(2)
DFID	(1)
PACCS	(9)
LCEP2	(20)

## エネルギーと鉱物:

燃料とガス資源の大部分はアフガニスタン北部に存在

アフガニスタンの地方では木材、蓄糞や農産物の残渣をエネルギー源として使用している。よって、木材の伐採が生活環境を大変脅かしている。

# アフガニスタンのエネルギー源

No.	エネルギー源	潜在的な能力	現在の生産量
1	石油	1,500万トン	400 barrel/day
2	天然ガス	3 ~4億立法メートル	
3	石炭	4億トン	100000/year
4	水力発電	23000 MW	250 MW

Table 7.1. 電力供給源と運用能力

Year	Hydro (MW)	Thermal (MW)	Imported (MW)	Other: diesel, micro hydro & renewable (MW)	Total supply (MW)
1357 (1978)	259	137	0	0	396
1381 (2002)	141	16	87	0	243
1386 (2007)	262	90	167	133	652

<b>水資源</b>	<b>能力(M<sup>3</sup>)</b>	<b>消費(M<sup>3</sup>)</b>	<b>差(M<sup>3</sup>)</b>
<b>表水</b>	<b>57000</b>	<b>17000</b>	<b>40000</b>
<b>地下水</b>	<b>18000</b>	<b>3000</b>	<b>15000</b>
<b>合計</b>	<b>75000</b>	<b>20000</b>	<b>55000</b>
<b>百万立法メートル(M<sup>3</sup>)</b>			





5- アフガニスタンは太陽光発電のポテンシャルがある。なぜなら、年間300日が晴天に恵まれており、1m<sup>2</sup>ごとに6.5kwh発電可能である。

6-風力もひとつのエネルギー源である。ヘラト州では年間120日が風の強い日であり、これまでもエネルギーとして使用されている。

7-バイオガスも農業地域で活用可能なエネルギー源である。

8-山地での地熱発電も利用可能である。

現在のエネルギー需要の70～75%は従来のエネルギー源である畜糞、石油や農作物の残渣で賄うことができる。

年間バイオマスエネルギー使用は石油換算で250万バレルであり、残りの需要に対しては市販のエネルギーで供給することができる。



マイクロ水力、太陽光、廃棄物や小型ディーゼル発電機などの導入が、地方部の電力アクセスの改善のために有効である。

これらの電力供給サービスには、民間事業者による運営が期待されており、技術水準を満たすことによって、コスト回収、持続性や安全性などが確保される。

## 国家戦略と目標

経済において成長の原動力となる持続性、信頼性が高く入手可能なエネルギーを供給することのできるエネルギー分野を、民間投資と政府の監督のもとで確立すること。

## 課題:

- 1- 長期におよぶ戦争によって、開発ができなかった
- 2- 人口増加
- 3- エネルギー供給や地下資源の採掘には巨大な投資が必要である
- 4- 地雷や不発弾の処理がまだ完了していない
- 5- 法規制の欠如
- 6- 治安の欠如
- 7- 技術や専門家の不足